



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 藤澤秀敬 幹事 平澤泰斗 会報委員長 唐木 章 第2774回例会 2017.3.12 No.1437



Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-17年度 RI 会長テーマ

2016-17 上伊那グループ インターシティミーティング

開催日時:2016年3月12日(日)13:30~

会場:たつのパークホテル

3月12日(日)たつのパークホテルにおいて辰野 RC がホストとなり、垣内章雄ガバナー補佐の指揮の下、第2600地区原拓男ガバナー、宮坂宥洪パストガバナー、中川博司パストガバナー、小林孝行直前ガバナー補佐、吉澤博文次期ガバナー補佐を特別出席者に迎え、IMが開催されました。

司会 辰野 RC 幹事 大森尚人

点鐘 垣内章雄ガバナー補佐

斉唱「君が代」「奉仕の理想」ソングリーダー 飯澤和也

開会挨拶 岩田 清 IM 実行委員長

ホストクラブ会長挨拶 辰野 RC 会長 河手欣哉

ガバナー補佐挨拶 垣内章雄 ガバナー補佐



大勢の皆様、特に特別出席者の皆様には時節柄大変お忙しいところ出席を賜り厚くお礼申し上げます。本年度 RI のテーマを実現するため原拓男ガバナーは 2600 地区のテ

ーマを「Basic&New! 原点に回帰し新たな改革を」といたしました。優先項目を2つ掲げる中で、一つ目の会員増強は各クラブの積極的な勧誘もあり 1/31 現在上伊那グループ全体で 16 名の増強が出来ました。2600 地区内でもトップを占め、全体でも原ガバナー念願の 2,000 名を超える 2,003 名となりました。引続き 6/30 まで会員増強をよろしくお願ひします。

優先項目の二つ目として、今年度財団 100 周年を迎え合計で 1 人年間平均 200 \$ の寄付の目標が示されましたが、上伊那グループは平均 193 \$ と 9 グループの中でトップの成績をあげることが出来ました。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、本日の IM セミナーでは、第一部で宮坂宥洪パストガバナーをお招きし「2016年 RI 規定審議会」についてお話をいただきます。また、第二部では春風亭ぴっかり☆さんの落語をお楽しみいただきます。本日がロータリアンにとって有意義な一日となるようお願いを申し上げます。

ガバナー挨拶 原 拓男 ガバナー



県内 8 カ所において開催された IM も今日で最後となります。8/31 からスタートした当地区の各クラブ公式訪問は、10/15-16 軽井沢で開催された地区大会を挟んで 11/10 で終えました。その際各クラブ会長・幹事との意見交換を行いました。各クラブとも今年度の RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」の趣旨を良く理解いただき、テーマに基づいた運営を行っていることを確認させていただきました。

ロータリーバッジを胸に付けている私たちは、「財団 100 周年の記念すべき年度に自分がロータリアンである」誇りと自覚を持ち、私たち自身の財団に寄付することで、今年度の RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」を実践しようではありませんか。

結びにポール・ハリスのエピソードとして、「会員は寛容で、親睦と友情の精神にあふれた人でなければならぬ」と考え、1911 年ザ・ロータリアンの最初の記事で『多くのロータリアンの中で何か一言と言われれば、躊躇なく「寛容」と叫ぶだろう』と言っています。私も同感です。本日の IM が実り多いことをご祈念申し上げます。

会員セミナー

テーマ「2016 規定審議会について」

講師 宮坂宥洪 パストガバナー

2016年シカゴで開催された RI 規定審議会において採択された主だった制定案について説明がありました。具体的には「入会金に関する箇所の削除」「職業分類の廃止（専業主婦・主夫も OK）」「クラブ例会と出席に柔軟性を認める」「人頭分担金を増額する」「従来型クラブと E クラブの区別をなくす」等の変更点についての説明でしたが、詳細は別途資料に記載のとおりです。



説明後の質疑応答では「なぜ人頭分担金を増額しなければならないのか」「定款と細則の関係など表現がわかりづらい」等の意見が出されました。

各クラブ意見発表

駒ヶ根 RC 下平順一 会長



規定審議会の「柔軟なクラブ運営」を受け、ロータリーが今後社会的ニーズにどのように対応していくべきかも考えながら、全員の意見を聞くなど議論をしてきました。例会頻度は「細則上は月 2 回以上」への変更も考えています。ただ、実際の運営は次年度会長を中心にとりあえず「月 3 回以上」で進める方向で検討していきます。また、会員増強の観点で見ると、現状の入会金が高いことは事実です。ただ、一方で「入会金を安くすれば会員が増えるのか」「粗製濫造でいいのか」と言った意見もあり、慎重に審議していきますが、少なくとも「今までのままではいけない」という問題意識のもとに取り組んでまいります。

伊那 RC 平出吉範 次期幹事



RI 規定審議会でのクラブ運営の柔軟性決定が、クラブ会員数減少・クラブ会員高齢化にあるとすれば、上伊那グループが直面している問題でもあり、クラブを活性化させ、成長に導く一つの解決策と認識しています。

昨年 9 月の理事会で定款・細則案を検討し、12 月のクラブフォーラムで会員に提示したほか、最も関心の高かったクラブ例会の回数について 2 月の IGM にて協議しました。

当クラブは卓話、クラブフォーラム等標準形の例会のほか、家族同伴例会、新年会・IGM 等夜

間例会、職場訪問例会・環境保全例会等行事を絡めた例会があり、今年度は 43 回開催されました。IGM においては「月 4 回の例会を 3 回に出来ないか」の意見が出ましたが、家族同伴例会等は多くの会員がその重要性を認めており、回数減少は難しいのが現状です。また、「会員卓話を増やして欲しい」との意見もあり、単純に標準形の例会を減らすことは解決にならないと考えます。

ただ、クラブの目的と現況に合わせて、運営に若干の変化を加える必要があると考えます。例会内容や進行見直しも検討し、効率良く内容の充実した例会を立案していくことが次期の目標です。従来形式にとらわれず、「変化と挑戦」チェンジ & チャレンジすることが活性化を図り、より活気あるクラブへと成長させる鍵ではないかと考えます。

伊那中央 RC 田中 洋 情報委員長



11 月のクラブフォーラムで規定審議会の考え方を共有、12 月には変更事項への考え方について会員アンケートを実施し 1/31 例会で全員による協議会を開催したほか、クラブ細則の変更も検討を進めています。その中でクラブ運営の重要な 3 点についてお話をします。

一つ目は、現行の委員会構成は大きく変えて欲しくなく、新たな委員会と現在の委員会の整合性を取り、時間をかけて統合していく形が望ましいと考えます。事業には長年の案件もある中で、現在の委員会が十分に機能し良い結果につながっていることもあり、地区全体で目安なり整合性、指針等を示していただきたいと思えます。

二つ目は入会金の取り扱いについて、今まで通りとするのか、減額するのか、いっそ会員増強のために廃止するのか色々な意見が出ています。難しい問題ではありますが、クラブ内でしっかり議論し、新入会員が増え、はつらつと活動できるようにしていきたいと思えます。

三つ目は例会出席について、仕事等で思うように例会に出席できない会員から「毎週例会があれば出席機会が増える」との意見も出ました。様々な意見が出ましたが、出席チャンスが多ければモチベーションにつながることも事実です。今後も「ロータリーは楽しく」より活力あるクラブを目指して取り組んでいきます。

箕輪 RC 山口 昇 ロータリー財団委員長



RI 規定審議会での変更事項について議論する中で、一定の方向性がまとまりました。

入会金については、既に当クラブでは入会金を廃止し会員増強を最優先に進めています。2017年に会員数20名の目標のところ現在19名まで来ており、さらに積極的に会員増強に取り組んでいきます。

クラブ例会は、月3回のうち例会を2回、親睦会を1回とする方向で検討しています。当クラブで過半を占める40歳台の会員が出席しやすい形とし、奉仕行事やクラブ運営等に関わる会議に出席する場合、メイクアップ、例会出席扱いとすることも検討していきます。

なお、人頭負担金の増額については得ないものと考えております。

辰野 RC 桑澤正子 会長エレクト



RI 規定審議会の変更事項について、会員からアンケートを取りました。

入会金については、現状維持との意見が多数を占めました。また、例会回数についても、今までの例会の形が一番良いのではないかという意見が多数でしたが、中には「例会が減少するとニコBOXが減る」「月2回の出席で出席率100%として欲しい」「4回に1回は休会があればありがたい」「卓話の機会を減らして欲しい」などの意見も出ました。

このほか「職業を持っていないとも入会できる」ことに違和感があるとの意見や「余りにも規定が変わりすぎて、昔のロータリーと様変わりして寂しい」との意見もありました。

最終的には会員皆様の意見をもとに決めていきたいと考えます。

講演「落語」

講師 春風亭ぴっかり☆さん



女流落語家の歴史を変えとも言われている「春風亭ぴっかり☆さん」に古典落語二題「権助提灯」と「徂徠豆腐（そらいどうふ）」を演じていただきました。愛くるしい笑顔と確かな話術に魅了され、古典人情噺と言うこ

ともあって「笑いあり、涙あり」の楽しい席となりました。

次期ガバナー補佐及び次期ホストクラブ紹介

次期ガバナー補佐挨拶 箕輪 RC 吉澤博文様

箕輪 RC の順番であり、若輩者ですが次期ガバナー補佐を務めさせていただきます。今年3月31日に満65歳を迎えます。地区の青少年交換委員を長く務め、RCの交換留学生プログラムにも娘2人がお世話になりました。ただ、長男が20年前のオーストラリアの交換留学生と結婚し、昨年6月オーストラリアに行ってしまいました。



来期の国際 RC テーマは「Rotary Making Deference～変化をもたらす」、来期の地区方針は「Up Date My Club」です。仕事よりも松本山雅が大事ではありますが、それよりも RC を大事に思っています。来期よろしくお願ひいたします。

次期ホストクラブ会長挨拶

箕輪 RC 桑澤諭 会長

次期ホストの立場で参加しましたが、会員セミナー、落語とも素晴らしく、大変有意義な時間でした。親クラブはさすが素晴らしく、箕輪 RC は少数ではありますが全員で準備して今日に負けない位の IM を開催したいと思います。箕輪町はいい街ですので、沢山の方々のお越しをお待ちしています。



懇親会

原ガバナーほか特別出席者、春風亭ぴっかり☆ちゃん参加のもと、懇親会が盛大に開催されました。地区内クラブ会員との懇親を深める機会となり、思い出に残るひとときでした。

